



Title	北海道大学における研究データ公開の現状と課題
Author(s)	佐々木, 翼
Description	6/22 (月) 14 : 00~15 : 30 「C1 研究データ共有の質を高める : 国内リポジトリの実践事例から学ぶキュレーションの技術」にて発表
Issue Date	2026-06-22
DOI	https://doi.org/10.14943/2115.100057
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/100057
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	conference presentation
File Information	100050.pdf





北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学における研究データ公開の 現状と課題

北海道大学附属図書館

学術情報支援課 オープンサイエンス担当

佐々木 翼

HUSCAPの現在地：「論文」中心のリポジトリ

総登録件数

約8万件

(年約3,000件ペースで増加)

研究データの割合

130件

(全体の0.15%)

論文のSupplement: 93件

データ単体: 37件

2005年: HUSCAP運用開始 (DSpaceシステム)

2021年: 研究データ登録開始

2025年～: 新システム「E-Cats Library」へ移行

HUSCAPのコンテンツ収集の現状

論文

学術雑誌論文

→ Web of Scienceによる把握

紀要論文

→ 編集委員会等へアプローチ

学位論文

→ インターネット公表義務化



図書館が主体的に収集

研究データ

- 研究データがあるか把握していない
- すべてが公開できるとは限らない



研究者からの申請
に基づく収集

研究データが登録されるきっかけ

1 出版社からの要請

投稿規定に基づくデータ公開

- ▶ データ登録 + URL を論文に記載
- ▶ 論文と同時にデータ公開
- ▶ 査読中は限定公開 → 採択後に一般公開

2 研究者の意向

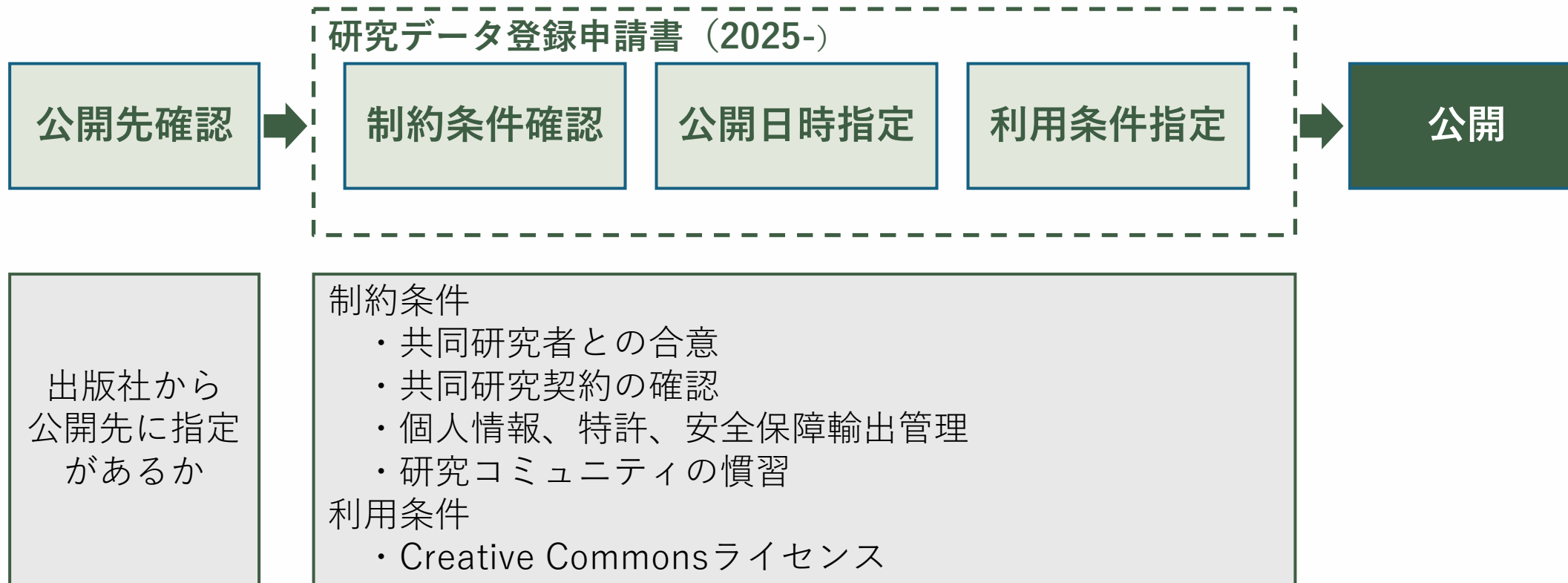
研究データの活用促進

- ▶ 研究・教育・診療への活用を期待

外部からの提供要請への対応

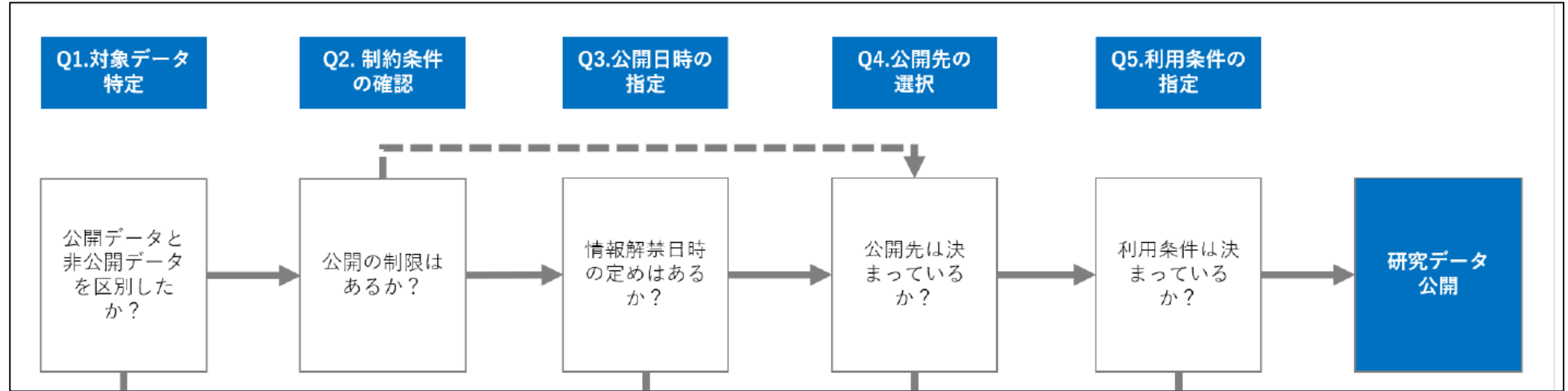
- ▶ メディア掲載記事の根拠データなど

研究者のデータ登録フロー

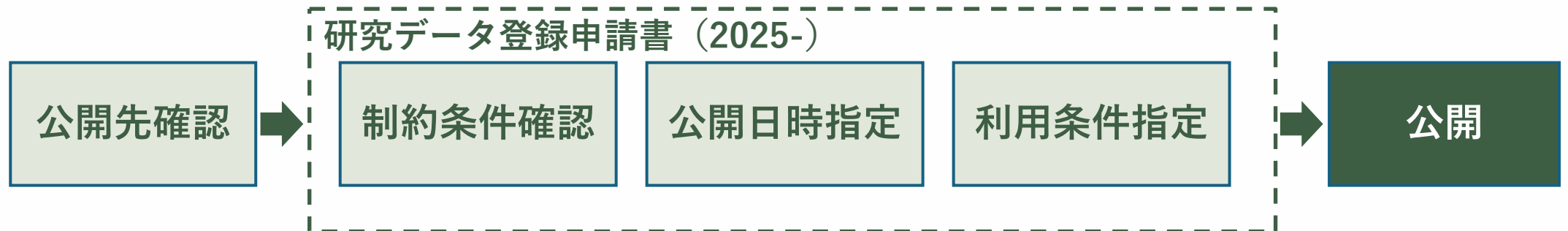


RDUFガイドラインとの対応関係

RDUF



本学



RDUFのフロー≒本学の実務フロー

利用条件の運用方針と実態

原則

標準ライセンスを推奨

CC BY

クリエイティブ・コモンズ
表示

CC0

パブリックドメイン提供



実務

現場の判断を反映

- ▶ 研究者の判断をそのまま反映
- ▶ 個別の事情に応じて条件を設定

例: 商用利用を制限したい



結果

運用実態の課題

利用条件未付与
のケースも多い

ライセンス情報が空欄の
データが大半

研究データの利用条件の実態と課題

STATUS 現 状

データ単体 37 件のうち

7 割

27 件 が利用条件未記入



ISSUES 課 題

未記入が招く影響

利用条件が付与されないまま公開



利用時の解釈が
利用者にゆだねられる



再利用が阻害される可能性

運用上の課題（出版社要件）

出版社の要件

推奨されるリポジトリ

- ▶ 分野別リポジトリ
- ▶ 汎用リポジトリ

参考リスト：

FAIRsharing.org
re3data.org

ギャップ

要件と現状のずれ

HUSCAP

≠

要件に合わない
場合がある

対応

図書館の対応

外部リポジトリを
案内する

要件に応じて
分野別／汎用リポジトリ
などを紹介

HUSCAPで研究データを公開できるケース

CASE 1 制度対応

即時オープンアクセス 義務化への対応

論文・データの即時公開を求める
資金配分機関の要請に応える

CASE 2 自発公開

研究者の意志で 自発的に公開

出版社の要請によらず
研究者自身の判断で
研究データを公開したいケース

運用上の課題（データ範囲）

SCOPE 規程の取扱範囲

取扱対象を
論文に関連するデータ
に限定

論文に紐づかない独立データは対象外

WHY 限定している理由

- ▶ **データ種別の多様性**
分野ごとに形式・粒度が大きく異なる
- ▶ **大容量データ対応の困難**
システム容量・帯域の制約
- ▶ **ストレージ的利用の懸念**
公開目的を逸脱する利用を避けたい



範囲を限定しての運用は適切か？

まとめ

HUSCAPの研究データ公開の現状

- ▶ 論文中心の機関リポジトリ
- ▶ データは限定的

研究データ登録申請フロー

- ▶ RDUFガイドラインに対応したフロー

課 題

- ▶ 利用条件 / 未付与が多い
- ▶ 出版社要件 / HUSCAPが公開先として適切か
- ▶ データ範囲 / 論文に関連するデータに限定

現状の位置づけ

- ▶ 即時オープンアクセス義務化の研究データ公開
- ▶ 研究データを公開したい研究者の受け皿